

## 平成 26 年度 指定管理者モニタリングレポート

<b>施設名称</b>	浜田市三隅B & G海洋センター
<b>指定管理者</b>	<b>名 称</b> : 公益財団法人 浜田市教育文化振興事業団
	<b>代 表 者</b> : 理事長 竹中 弘忠
	<b>住 所</b> : 浜田市黒川町 4175
<b>モニタリングの 実施方針・方法等</b>	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、事業報告書、決算報告書、月間利用状況報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等を行い、「指定管理者モニタリングチェックシート」を作成し、適否を検証する方法で実施しました。</p> <p>具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
<b>担当部署 (問合せ先)</b>	<b>部 署 名</b> : 教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興係
	<b>電話番号</b> : 0855-25-9721
	<b>E-mail</b> : manabi@city.hamada.shimane.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

【施設構成】 浜田市三隅B & G海洋センター（以下「海洋センター」）は、海洋性スポーツ・レクリエーション等の振興を図るために、次の2施設が設置されています。

①体育館 ②艇庫

【指定管理者制度導入時期】 平成 22 年 4 月～

【指定管理期間】 平成 25 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【指定管理者】 公益財団法人 浜田市教育文化振興事業団

【業務内容】 利用許可、保守管理、清掃管理、設備管理、保安警備、イベント等の計画、実施、海洋センターを利用したスポーツ・レクリエーションの指導等を行っています。

利用者の安全確保のため、定期的な巡回により施設内の安全確保と不良箇所の早期発見に努めています。

アウトドア活動の拠点となっている田ノ浦公園オートキャンプ場に隣接しており、夏場には、カヌー体験やキャンプ等多くの観光客で賑わっています。

運営管理状態について、指定管理者は、多種多様な施設を一元的に管理しており、利用方法についても、市広報・事業団広報・ホームページ・CATV・学校・公民館や他の体育施設とのネットワークを通じて施設に紹介するなど、市内外の利用者増加に繋がるよう努めています。

平成 26 年度は、改修工事が行われ、利用日数と時間が減少したため収支差引は 13,023 円しか発生しませんでした。この 6 割 (7,814 円) を戻入し、経費管理も適正と判断しました。

しかしながら、少子高齢化や人口の減少により厳しい経営を迫られることが予想されるため、経費を削減しながら効果的なPRと効率的な管理運営と自主事業を展開し、施設利用者の増加に向けての努力が必要です。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

- ・安定した施設経営のためにも、更なる施設利用率向上の取組みが求められます。
- ・自主事業の実施にあたっては、集客力のある魅力的な企画が求められ、経費面において負担リスクの少ない実施方法を検討する必要があります。
- ・今後も管理運営に努め、利用者の顧客満足度の向上に更なる努力を期待します。
- ・ホームページの更新の遅れにより、利用者が最新の情報を得るのに時間がかかっているため、今後は更新間隔を早めるように指示しました。

## I 基本的な考え方

### ① 目的、公平性、効果等への所見

地域のスポーツ振興・レクリエーション普及のための施設としての目的を達成するために、各種スポーツ団体・文化団体、グループ・サークル、学校関係など、利用希望に対する施設利用許可は規定どおりに運用され、公平・平等に提供されていました。

また、市内外の各種の海洋性スポーツのイベント等にインストラクターとして協力し、海洋性スポーツ・レクリエーションの指導を行なうとともにその普及にも努めていました。

なお、自主事業においては、各種カヌー教室、フォークダンス教室を開催し、地域の教育・文化・スポーツの振興に一定の成果があったものと判断しました。

これらの事業展開は、B&G財団の目指す“青少年の健全育成”地域住民の“心とからだの健康づくり”を担うものであり、その効果を十分に期待できるものであることから、今後も継続していく必要性があります。

## II 業務内容

### ① 事業への具体的取組み方について

市民のスポーツ振興のために、施設運営に関する業務や自主事業を事業計画に沿って適切に実施されていました。

また、海洋センター運営の目的の一つである、青少年を対象にした海洋性スポーツレクリエーション事業を軸にした実践活動、海事知識の普及、三隅海洋クラブ員の育成に努めていました。

総合型スポーツクラブの拠点施設となるため、設立準備委員会を立ち上げ、実行委員の取りまとめと調整をしながら、地域スポーツ推進窓口の一元化に向けて、事務局として会議の運営に努めていました。

### ② 施設の運営体制や組織について

#### 【職員数について】

嘱託職員・・・1名、夜間パート職員・・・2名

※アクアみすみ兼務職員・・・1名

また、アクアみすみに駐在するB&G指導員資格を取得しているアドバンスト・インストラクター1名及びインストラクター2名と連携しながら事業展開を行い、経費節減に努めていると認められた。

なお、双方が駐在している事務所間の距離的理由により、職員間の意思疎通が希薄になることが予測されるため、職員全員が十分な連絡調整を行い、連携を図る必要性が感じられました。

### ③ 適切な事務や経理について

施設の利用関係事務は、例規に沿って適正に処理されていました。

また、経理関係事務についても、指定管理者の組織内に担当者を設け、公認会計士の指導の下で適正に処理され、施設使用料や自主事業収入についても、適正に処理されていました。

### ④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について

#### ●安全管理対応について

危機管理マニュアルを作成し、緊急連絡網を整備し、AED講習、避難訓練を実施しています。また、救助艇のメンテナンス、水上バイクでの救助法を自主研修及び講習会へ参加しながら、万一の備えとして対応しています。

#### ●情報管理対応について

浜田市個人情報条例に基づき適切に管理されていました。

#### ●緊急時等の対応について

浜田市危機管理マニュアルに基づき、対応しています。海辺のイベント時には、海上保安部へ予め申請し対応しています。

### ⑤ その他業務内容について

利用者が安全な環境の中で利用できるように、職員全員が巡回及び日常・定期点検による安全確保と不良箇所の早期発見・修繕に努め、市民の健康づくり・憩いの場としての施設管理に努めていました。

また、節電・節水等の省エネについても職員全員で取り組み、経費節減に努めているとともに、施設利用者にも理解と協力を求める取り組みもなされていました。

# 施設概要及び実績報告書

## 1 施設概要

施設名	浜田市三隅B & G海洋センター	
所在地	浜田市三隅町西河内 1240-1	
開設年月	昭和 57 年 3 月	
設置条例	浜田市三隅B & G海洋センター条例	
設置目的	海洋性スポーツ・レクリエーション等の振興を図り、もって市民の心身の健全な発展に寄与するため。	
施設の概要	敷地面積	3,005.05 m <sup>2</sup>
	延床面積	1,302.25 m <sup>2</sup>
	施設内容	体育館、艇庫、事務室、ミーティングルーム、器具庫、ホール、トイレ、男女更衣室・シャワー室、機械室等
	事業内容	B & G財団から無償譲渡された施設の譲渡契約（B & Gプラン）に基づき、指導員を配置し、主として青少年を対象に、海洋性スポーツ・レクリエーション事業を軸とした実践活動、海事知識の普及、豊かな人間関係と体力向上を図り、海洋国日本の発展に資することを目的として事業展開をしています。

## 2 運営実績

※平成 26 年 11 月から平成 27 年 2 月まで施設改修工事のため全館利用止め（浜田市発注工事）

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
開館日数	304 日	306 日	186 日
開館時間	体育館	9:00～21:00	9:00～21:00
	艇庫	9:00～日没前 2 時間まで	9:00～日没前 2 時間まで

## 3 利用実績

※平成 26 年 11 月から平成 27 年 2 月まで施設改修工事のため全館利用止め（浜田市発注工事）

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
延べ利用者数	6,880 人	7,000 人	4,397 人
利用料金収入	270,140 円	265,000 円	171,062 円

#### 4 収支実績（円）

項目	H25 実績	H26 計画	H26 実績
<b>収入</b>			
利用料金収入	270,140	265,000	171,062
指定管理料	8,782,746	9,044,000	9,036,186
自主事業収入	354,750	357,000	337,750
雑入	0	0	116,838
<b>収入計</b>	<b>9,407,636</b>	<b>9,666,000</b>	<b>9,661,836</b>
<b>支出</b>			
<b>人件費</b>	<b>6,216,206</b>	<b>6,583,000</b>	<b>5,516,017</b>
給料手当	2,203,406	2,360,000	2,436,424
賃金	3,383,480	3,511,000	2,549,364
福利厚生費	629,320	712,000	530,229
<b>管理費</b>	<b>2,990,610</b>	<b>2,726,000</b>	<b>3,868,886</b>
旅費交通費	365,366	487,000	393,698
消耗品費	754,053	224,000	255,309
施設修繕費	230,916	100,000	1,506,848
燃料費	45,171	48,000	25,968
印刷製本費	42,000	60,000	60,000
薬剤費	0	20,000	0
光熱水費	537,157	545,000	518,677
通信運搬費	82,959	92,000	94,021
損害保険料	149,070	161,000	150,420
手数料	31,835	75,000	105,423
委託費	229,152	244,000	235,692
使用料及び賃借料	315,322	445,000	316,778
負担金	33,750	45,000	106,900
租税公課費	173,859	180,000	99,152
<b>自主事業費</b>	<b>194,651</b>	<b>357,000</b>	<b>271,724</b>
報償費	52,000	158,000	126,000
旅費交通費	6,000	10,000	6,000
消耗品費	12,201	10,000	0
損害保険料	7,850	22,000	7,850
使用料及び賃借料	116,600	157,000	131,874
<b>支出計</b>	<b>9,401,467</b>	<b>9,666,000</b>	<b>9,656,627</b>
<b>収支差引</b>	<b>6,169</b>	<b>0</b>	<b>5,209</b>